

☆さいたま市民テニス大会参加資格細則 (さいたま市テニス協会) ☆

当市民テニス大会に参加するには、当協会の会員であることの他に下記条件が有ります。

◆大会の種目と参加者条件

大会	年齢基準	種目			参加者の条件										参加費				
		性別		単複	クラス	会員区分			クラス				年齢区分	一般とベテランの重複参加					
		男	女	単		複	S	T	F	A	B	C				E			
春季シングルス 春季ダブルス	一般	男	女	単	複	A	S					A						可	振込
		男	女	単	複	B	S						B						
		男	女	単	複	C	S								C				
		男	女	単	複	E	S									E		不可	現地
	ベテラン45から75才	男	女	単	複	—	S	T								有	可	振込	
県南トーナメント	一般	男	女	単	複	—	S	T注3	F注3								不可	振込	
	ベテラン男45才	男	女	単	複	—	S	T注3	F注3							有			
ジュニア	10, 12, 14才	男	女	単	—	—	S	T	F							有	—	振込	
秋季シングルス 秋季ダブルス	一般	男	女	単	複	A	S					A					可	振込	
		男	女	単	複	B	S			F			B						
		男	女	単	複	C	S								C				
		男	女	単	複	E	S									E		不可	現地
	ベテラン45から75才	男	女	単	複	—	S	T	F							有	可	振込	
テニスの日	—	混合	—	複	—	S	T										—	振込	
団体戦	一般	男	女	—	複	A	S	T				A	B	C			不可	振込	
		男	女	—	複	B	S	T					B	C					
		男	女	—	複	C	S	T							C				
	ベテラン男50,60女50才	男	女	—	複	—	S	T								有			
ミックス ダブルス	一般	混合	—	複	A	S	T					A	B	C			不可	振込	
		混合	—	複	B	S	T						B	C					
		混合	—	複	C	S	T								C				
		混合	—	複	E	S										E			
	ベテラン50,60才	混合	—	複	—	S	T									有		現地 振込	
市民選手権	一般	男	女	単	複	A	S	T				A					不可	振込	
	ベテラン45から75才	男	女	単	複	—	S	T								有			
優秀選手決定戦	一般	男	女	単	複	B	S					A					—	振込	
		男	女	単	複	C	S						A	B					

注1. クラスEの方は一般部門の種目Eだけに参加できます

注2. 年齢基準: ベテラン部門は、大会年度の12月31日を下限年齢基準とする。

ジュニア大会は、大会年度の1月1日を上限年齢基準とする。

市民選手権のベテランは開催年の12月31日を下限年齢基準とする。

注3. 県南トーナメントは県南郡市に登録が必要。県大会出場有資格者は参加不可。

【大会ごとの条件】

□市民選手権 当協会の一般部門とベテラン部門の年間最優秀選手(組)を決める最高ランクの市民大会、都市対抗戦の代表選手選抜の基準とする。

☛ [春季県大会推薦枠] 一般男女「単、複」ベスト16内で、各8名(組)

一般の部: 市民大会の一般Aベスト16

県大会一般出場者、県ベテランベスト4、県大会一般有資格者、

県南大会一般ベスト8

大会運営委員会が認めた選手(組)

ベテランの部: 大会開催年の12月31日までに各種目の年令に達していること。

市民大会ベテランベスト16

県大会ベテラン出場者、県南大会ベテランベスト8

大会運営委員会が認めた選手(組)

*ベテランJOP公認対象大会(F1グレード)

*単の有資格者および複の有資格者同士も複への参加は可。複有資格者の単への参加は不可。

*一般とベテランはどちらか一方を選ぶこと。その中での単・複有資格者は両方へ参加可。

□優秀選手決定戦 市民大会B、Cクラスの年度優秀選手決定戦（選手権と同時開催）

（春季、秋季）大会、ブロック優勝者、未登録者（フリー）は参加不可

*市民選手権、優秀選手決定戦両方の出場権獲得者（組）は選手権を選択すること。

*同じ種目でB・C両クラス有資格者（組）は、Bクラスへ参加のこと。

*単と複と両種目の有資格者は、両方参加できる。

□（春季、秋季）市民大会

一般、ベテランの男女「単」「複」で構成する大会、

秋季は当市民体育大会を兼ね、未登録の当市在住か在勤の方も、フリー（区分F）として参加できる。

一般A：春季・秋季県大会予選推薦者（組）と市選手権出場者（組）を選抜する

■ [県大会推薦枠] 春・秋季、男女「単、複」ともに参加数 64 以上は各 16 名（組）、

満たない場合は 8 名（組）

（4P-県大会予選会出場注意事項参照）

・県大会出場有資格者は参加不可、「複」では個々の選手に該当、有資格者とは県大会本戦、予選に残っている選手、県大会推薦が取れる各種大会で春季または秋季の出場資格を獲得した選手も含む。

・県大会推薦枠ベスト 16(8)の選手の内、推薦辞退、推薦取消、推薦資格のないそれぞれの選手は、次回のさいたま市春季または、秋季市民大会へ参加不可。

但し、棄権した理由が正当と判断できる届出書の提出がある場合は可とする。

*Aクラス申込み後に県大会出場権を獲得した選手はその時点で辞退連絡をする事。

一般B、C：優秀選手決定戦、出場選手選抜のブロック別トーナメント（大会運営付則-2項参照）

ベテラン：年令別部門、45～75才以上迄の5才刻みクラス、市選手権出場者の選抜対象となる。

Eクラス：テニス教室卒業生、初心者、試合経験の少ない方々の独立したクラス

*ねりんピック全国大会の予選会：春季ダブルス大会のベテラン男女60才以上、男子70才以上の方を対象。大会翌年度の4月1日までに各種目の年令に達していること。

前年度代表者を除き3種目の各上位組から、さいたま市在住又は在勤のS登録者を市代表として派遣する。行政、テニス協会から若干の派遣費補助有り。

□ジュニアトーナメント

試合経験の少ない選手対象、年令別男女「単」のジュニア大会

会員又はそのお子さん、当市在住か在学の小、中学生で埼玉県ランキング50位以下の選手
大会運営委員会が認めた選手

□テニスの日 ワンデー大会&イベント（秋分の日）

ファミリーミックス大会

□団体戦 クラス別団体対抗戦

大会年度（春季、秋季）市民大会春季ダブルスまでの「複」戦績（クラスアップ者は上位）を基準とする。

一般男女A：大会年度の県大会一般「単」又は「複」出場者、出場権獲得者及び有資格者

Aクラス出場者が該当

一般男女B：Bクラス出場者が該当

一般男女C：Cクラス出場者が該当

ベテラン男女：男女50才、男子60才以上のクラス

【団体条件】同一団体員編成「複」3組で1チーム・同一団体から複数チームの参加可

原則、チーム登録（申込み）は6名～12名・1人、1種目、1チームに限定、重複登録不可

*前年度、本大会優勝チームは上位クラスに申込むこと。

*チーム編成上、上位クラスで参加しても秋季、春季市民大会のクラスアップは不要。

- ミックスダブルス 一般（1～3部）、ベテラン（4～5部）、Eの6クラスで構成、
 クラス別、本戦・予選方式（1部は、本戦ストレートイン方式あり。）
 大会年度（春季、秋季）市民大会秋季ダブルスまでの「単」または「複」戦績（クラスアップ者は上位）を基準とする。
- *「単」と「複」で違うクラス同士の出場組は、上位クラスで申込むこと。
- 1 部：大会年度、県大会、一般「単」または「複」出場者、有資格者および出場権獲得者
 Aクラス出場者が該当
 - 2 部：Bクラス及びベテラン出場者が該当
 - 3 部：Cクラス出場者が該当
 - 4 部：ベテラン 50 才以上
 - 5 部：ベテラン 60 才以上
 - Eクラス：Eクラス登録者

📄 大会運営付則

1. 大会申込み
 種目クラスと参加者条件のクラスは 1P 表を参照
2. クラスアップ
 春季、秋季の B、C のブロックの優勝者は、彩 Tomas のクラスをアップし、以降の大会から、それぞれの上位クラス（A、B）に申し込むこと。
3. クラスダウン・・・原則、認めない。
4. ダブルエントリー
 (1) 市民大会と県大会、各種大会とが重複の可能性がある場合は大会を絞り、申込むこと。
 *絞らずに申込み、大会に参加した場合はペナルティーの審議対象
 (2) 異なる市民大会が一定期間内に開催される場合は、複数の申込みが出来る。
 ただし、重複が分かった時点で一方の参加棄権を連絡すること。
5. ドローの規模
 種目（クラス）は 3 ドロー以上で成立する。
 尚、不成立の場合は大会運営委員会の審議結果を連絡する。
6. 表彰対象
 (1) 大会上位入賞者に対し規定に基づき表彰する。
 (2) 年間大会を通じ活躍された参加者に対して規定に基づき功労賞として表彰する。

📄 大会運営上のペナルティーについて

さいたま市民大会は公平かつ権威ある大会を目標とする観点から、特に以下の事項を重視します。

- ★ 大会期間中、県大会推薦資格獲得者の途中棄権 → 原則、県大会推薦の取消
- ★ 申込クラスの違反・年令の違反・ダブルエントリー → 判った時点で処遇審議
- ★ 「S」登録者の他郡市県大会予選会出場及び予選会に繋がる大会出場 → 判った時点で処遇審議

下記項目に触れた場合 → さいたま市テニス協会が開催に係る大会に原則、1年間参加停止

- 県大会出場有資格者の春季、秋季大会参加。
- 「T」登録者（他郡市県予選会出場者、他）の春季、秋季大会参加。
- 「S」登録者の他郡市県予選会にまたがっての参加
- 申込者と異なった替え玉、名義貸し、代理参加（名義人、代理、パートナーも含む）
- 団体（戦）チームで参加し、その一員が大会期間中、上記各項目に触れた場合 → 処遇対象はチーム

☞＜参考＞県大会予選会出場に関する注意事項

県大会出場権の獲得は各都市協会の県大会予選会と県協会公認のオープン大会等があります。さいたま市民大会への参加は大会参加細則を確認してお申込み下さい。

1. 当協会の県大会予選会と推薦条件

県大会予選会は春季・秋季大会の一般部門Aクラスと、市民選手権の一般部門があります。県大会への推薦される方は、予選会上位の選手・組、区分「S」で埼玉県在住、または在勤在学者であることが必要です。推薦条件を満たさない場合は推薦数が減じる場合もあります。

2. 区分「S」「T」と各市主催の県大会予選会の関係

区分「T」：当市以外から県大会出場権の推薦獲得を目指す方。

当市の春季、秋季市民大会には参加できません。

区分「S」：当市から県大会への推薦獲得を目指す方。

他郡市が主催する県大会予選会又はそれに繋がる大会に参加できません。

県大会推薦を放棄等の条件をつけても参加できません。

3. 当市在住、在勤、在クラブで、複数の郡市協会への登録者は、区分S、Tに従って、郡市の県大会予選会を一つに絞って出場のこと。

☒埼玉県テニス協会通達 (H21年12月3日)

1. 会員登録は在住、在勤、在クラブで複数の郡市テニス協会に出来る。

県協会主催大会、行事には県協会登録会員(3月1日付け、各郡市登録会員)でないと参加できない。

2. 郡市テニス協会から選抜された選手、推薦を受けて県行事等に参加する会員は当該テニス協会の会員であること。

3. 県協会主催大会に郡市テニス協会の推薦で参加する選手は、複数の郡市テニス協会にまたがって推薦を受けることは出来ない。単・複は別々の郡市テニス協会からの推薦を受けられるが、当該テニス協会の決まりに従う。推薦は実質的に活動している郡市テニス協会からが望ましい。

4. 県協会主催大会に個人の資格で「複」に参加する場合は、それぞれの選手が登録している郡市テニス協会が異なることは差し支えない。

☒埼玉県一般・ベテラン選手権大会の大会参加基準変更

(平成24年7月13日)

現在大会参加資格について「埼玉県テニス協会の会員である事」が必須条件になっているがこの条項につき以下の通りとしたい。

「埼玉県テニス協会の会員で、埼玉県在住、在勤者に限り参加出来る。但し大学生は国体参加基準である『ふるさと制度』を適用して、埼玉県の中学校又高校を卒業した人で会員であれば参加出来る」

(理由)

埼玉県一般及びベテランテニス選手権大会(春季・秋季)は「県民総合体育大会」としての位置付けを行っており、本来の基準に基づき県民である必要がある。この「県民総合体育大会」により、県営テニスコート(主として大宮第二公園第一コート)は優先してコートの確保及び減免対応を受けて最大限の優遇を受けている。従って最も基本的な「県民」の大会でありこの原則を堅持する。

以上の理由により「県民総合大会」である下記4大会要項を変更する。

埼玉県春季一般テニス選手権大会

埼玉県春季ベテランテニス選手権大会

埼玉県秋季一般テニス選手権大会

埼玉県秋季ベテランテニス選手権大会

以上4大会